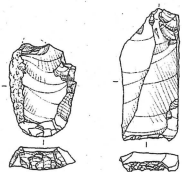


雲仙市文化財調査報告書（概報） 第2集

ryouu shinshouji
龍王遺跡Ⅱ・真正寺条里跡

（旧石器時代編）

—国見中部地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査概報—



2007
長崎県雲仙市教育委員会





遺跡上空より有明海を望む（右上建物は雲仙市立国見中学校）

雲仙市文化財調査報告書（概報） 第2集

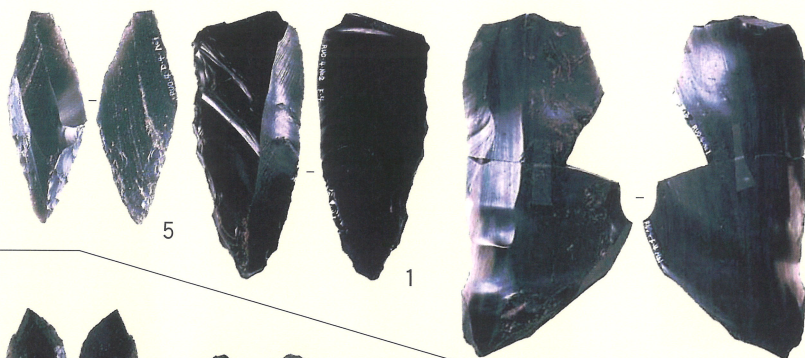
ryouu shinshouji
龍王遺跡Ⅱ・真正寺条里跡

（旧石器時代編）

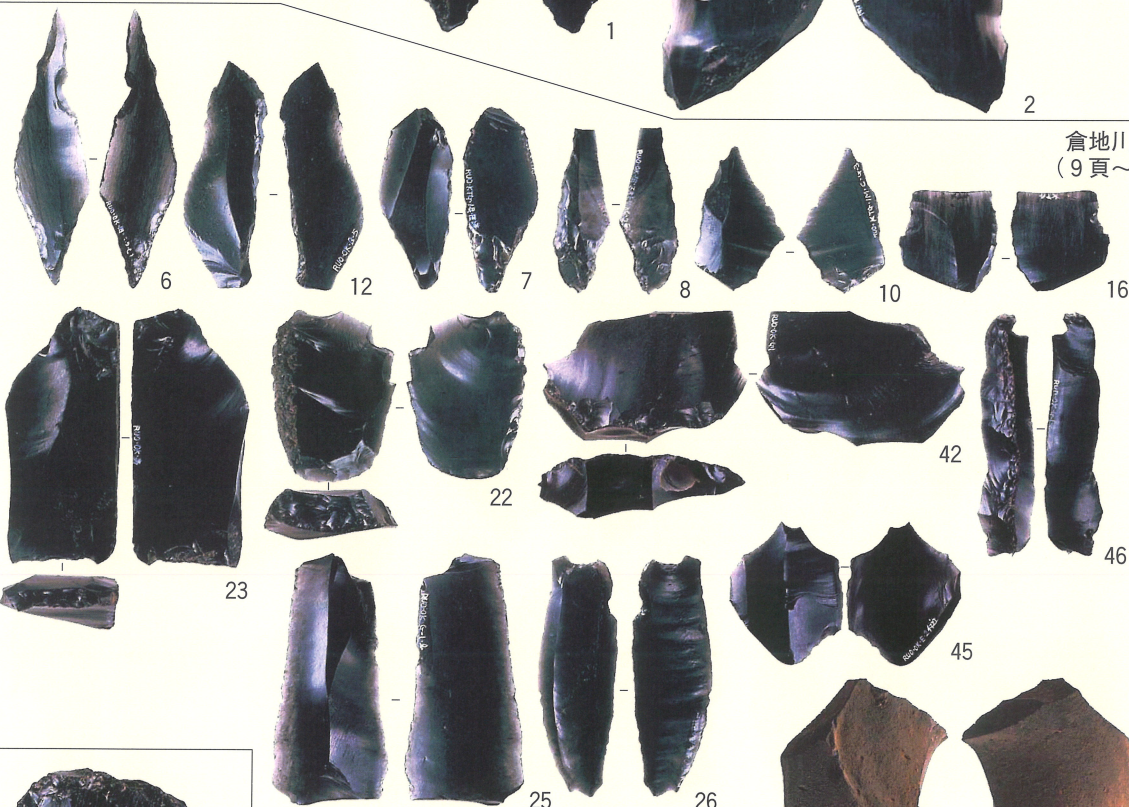
—国見中部地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査概報—

2007
 長崎県雲仙市教育委員会

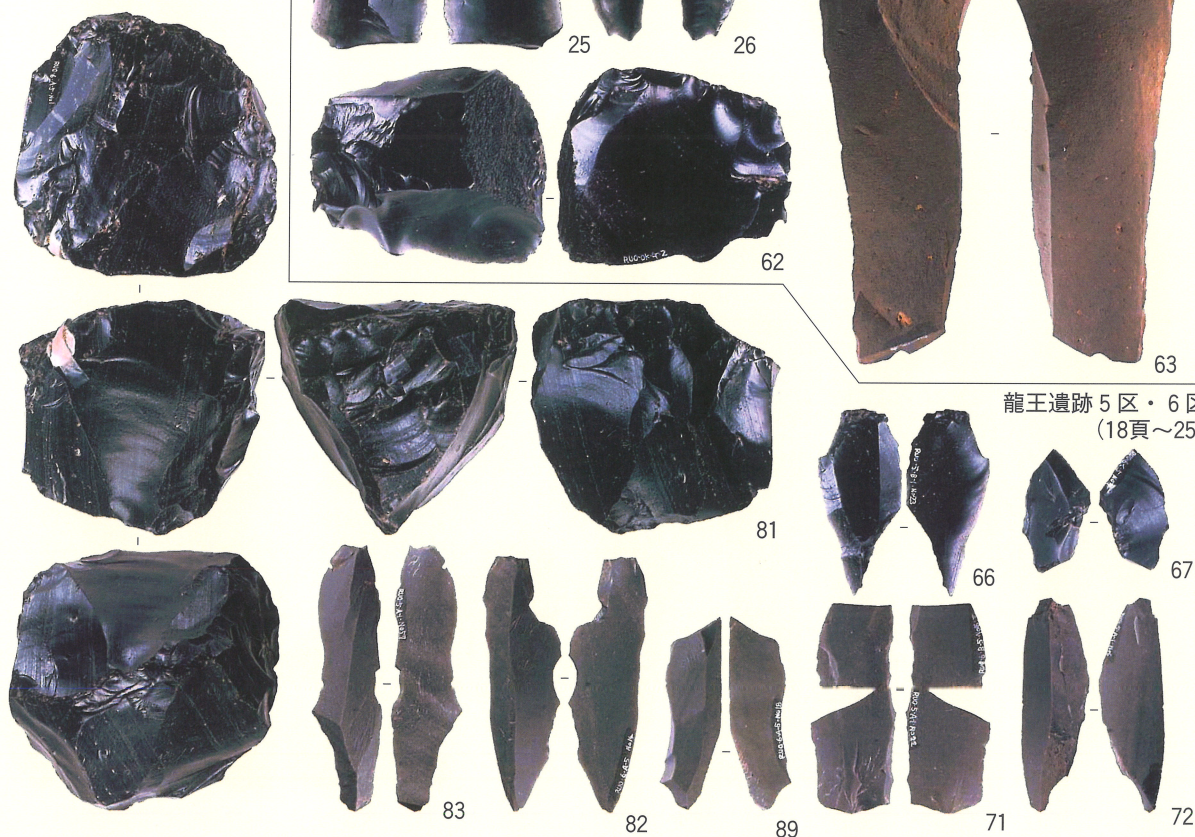
龍王遺跡 4 区
(6 頁～8 頁)



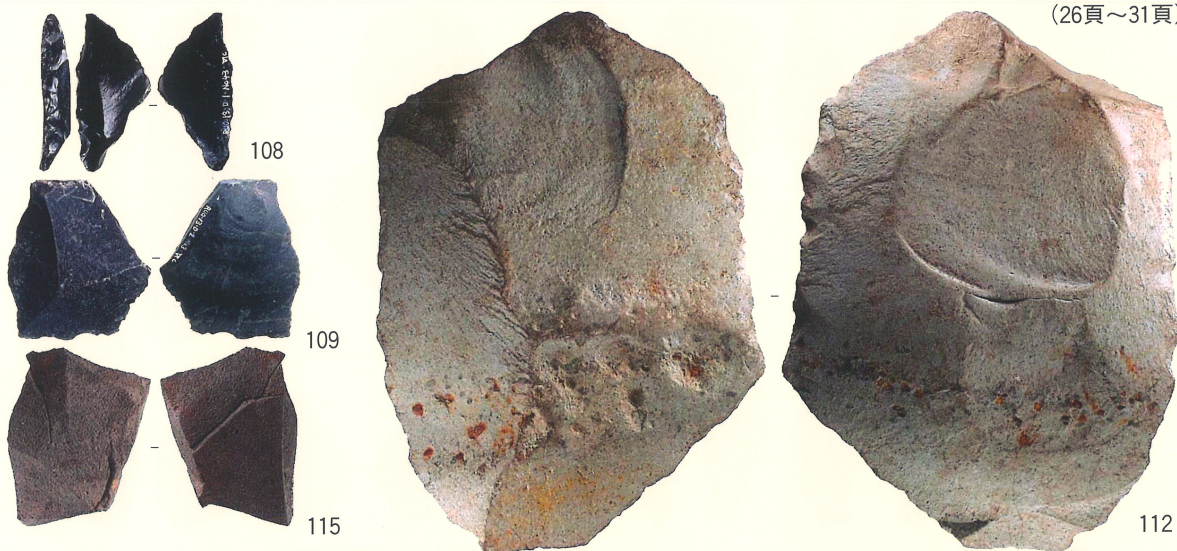
倉地川地区
(9 頁～17 頁)



龍王遺跡 5 区・6 区
(18 頁～25 頁)



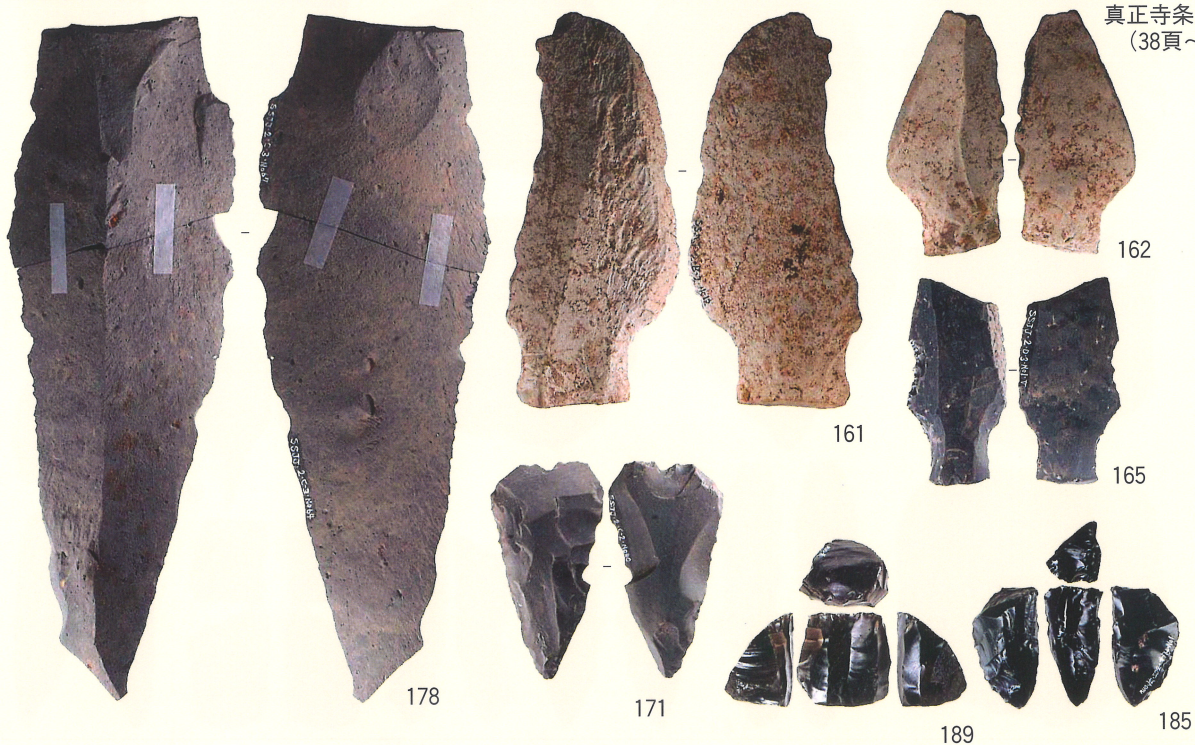
龍王遺跡13区・14区
(26頁～31頁)



真正寺条里跡1区
(32頁～37頁)



真正寺条里跡2区
(38頁～44頁)



発行にあたって

このたび平成16年度に実施しました国見中部地区圃場整備事業に伴う龍王遺跡・真正寺条里跡の緊急発掘調査の報告書(概報)を発刊することになりました。当市は平成17年10月11日(10に11日)に7町(国見町・瑞穂町・吾妻町・愛野町・千々石町・小浜町・南串山町)が合併して誕生しました。「豊かな大地・輝く海とふれあう人々で築くたくましい郷土」の実現に向けて地域の発展を目指しています。

本報告は旧国見町において調査された成果であり、ここにその報告を行います。

龍王遺跡・真正寺条里跡は、島原半島の北端に位置する半島内でも随一の平坦面を誇る扇状地台地上にひろがります。古代条里制の残る水田地帯に位置し、長い間脈々と営まれた農耕地の下に埋蔵されていた古代人の息吹が、発掘調査によって目を覚ましたこととなります。遺跡の南側には雲仙普賢岳がそびえ、頂上付近には平成新山と名付けられた溶岩ドームが噴火の生々しさを今に伝えています。北側に目を移せば、眼下は有明海が広がり、佐賀県・福岡県・熊本県までも一望することができます。

これまでの調査において遺跡からは、旧石器時代から中世までの幅広い時代の遺物・遺構が発見されておりその埋蔵量は計り知れないほどです。今概報では遺跡より検出された旧石器時代の遺物・遺構を報告いたします。二つの遺跡からは6箇所に分かれてそれぞれにまとまりのある旧石器時代文化層が検出されています。重層関係にある資料は残念ながら検出されていませんが、地点ごとに異なる分布状況や石器組成をみせており、いずれの地区にも時期差があると考えられます。総出土点数も1,000点を超え、剥片剥離技術の復元も可能な資料が含まれており、県内でもきわめて稀な資料であります。はるか昔に当地で暮す祖先たちの生活が垣間見えます。今報告では火山灰分析により、指標火山灰である「始良 Tn 火山灰」も検出されており、より緻密な石器群の変遷を捉えることができたと考えております。

雲仙市の緑豊かな農業地帯も、近年の農業基盤整備に伴い大きく変貌しております。このような情勢の中で、祖先の貴重な文化遺産を保護し、これを後世に伝えることは、私たちに課せられた重要な責務であります。本市(旧7町)では、このような事態に対処するため、遺跡発掘調査を行い保存・保護に努めてまいりました。調査の成果を公開する一つの手立てとして報告書を作成いたしました。遺跡の宝庫といわれる本市にとりましては、貴重な歴史と文化を理解するうえで大きな役割を果たすものと期待しております。

最後になりましたが、今回の調査に当たり、地元地権者の皆様、工事関係者の皆様、大学・博物館関係の諸先生方ならびに長崎県学芸文化課の皆様のご指導に衷心より感謝申し上げます。発刊のことばといたします。

平成19年3月31日

長崎県雲仙市教育委員会
教育長 鈴山勝利

例 言

1. 本報告は平成16年度（2004年～2005年）に実施した国見中部地区県営圃場整備事業に伴う長崎県南高来郡国見町（現長崎県雲仙市国見町）に所在する龍王遺跡・真正寺条里跡の緊急発掘調査の報告（概報）である。
2. 調査は国見町教育委員会（現雲仙市教育委員会）が担当した。
発掘調査は下記の期間実施した。
2004年8月3日～2005年3月13日 龍王遺跡1区～15区・拡張区・倉地川地区、
真正寺条里跡1区・2区
3. 調査体制は次のとおりである。

調査主体	国見町教育委員会	教 育 長	原 宮之
		教 育 次 長	吉田 正昭
		社会教育係長	柴崎 孝光
調査担当		社会教育係	辻田 直人
		文化財調査員	竹中 哲朗
現体制	雲仙市教育委員会	教 育 長	鈴山 勝利
		教 育 次 長	辻 政実
		生涯学習課長	岩永 判二
		文化財班班長	柴崎 孝光
		主 査	江崎 亮太
		主 査	辻田 直人
		文化財調査員	山下 美郷・小野 綾夏・益田 豊明
4. 現地での遺構・遺物の実測は東 文子・林 繁美・寺中典子・徳永美也子・深水聡子・福田次郎・益田豊明（当時別府大学）・竹田将仁・竹中・辻田が行い、遺物の実測は早稲田一美・濱本秀美・辻田が、トレースは早稲田一美が行った。また、図版の編集・作成は早稲田一美・小野綾夏・辻田が行い、写真は現地調査を竹田将仁・竹中・辻田が、遺物写真は早稲田一美・柳原亜矢子・小野綾夏・辻田が行った。裏表紙については生涯学習課生涯学習班 吉田奈央による。
5. 遺構・遺物実測の一部は(株)埋蔵文化財サポートシステムに委託した。
6. 火山灰分析・年代測定・植物珪酸体分析は(株)古環境研究所に委託した。
7. 空中写真撮影業務は(株)九州文化財研究所に委託した。
8. 本書における遺物及び写真・図面等は雲仙市国見神代小路歴史文化公園歴史民俗資料館で保管している。
9. 本書で用いた方位はすべて真北であり、国土座標は世界測地系による。
10. 現地調査および本書の刊行にあたって多くの方々からご助言いただいた、記して謝意を表します。
小畑弘己（熊本大学）、長岡信治（長崎大学教育学部）、早田 勉（(株)古環境研究所）、萩原博文（平戸市教育委員会）、川道 寛（長崎県文化施設整備室）、中村真理（東京大学）、阿部 敬（東京大学）、木崎康弘（熊本県立装飾古墳館）、池田朋生（熊本県立装飾古墳館）、岩谷史記（熊本市教育委員会）、渡邊康行（(株)埋蔵文化財サポートシステム）、山口勝也（(株)埋蔵文化財サポートシステム）、荒木伸也（長崎県南島原市教育委員会）、宇土靖之（長崎県島原市教育委員会）、九州旧石器文化研究会、福岡旧石器文化研究会、長崎県教育委員会、(株)野田建設、(株)星野建設、(株)有明建設、(有)織田建設（順不同）
11. 本書の執筆・編集は辻田直人による。

目 次

巻頭図版

発刊にあたって

例言

本文目次

挿図目次

表目次

図版目次

第1章 調査の経緯 1 p

第1節 発掘調査にいたる経緯

第2節 発掘調査の方法及び経過

第3節 遺跡の地理的・地形的環境

第2章 基本土層 4 p

第1節 各調査地点の対比

第3章 旧石器時代 7 p

第1節 龍王遺跡4区石器群

第2節 龍王遺跡倉地川地区石器群

第3節 龍王遺跡5区・6区石器群

第4節 龍王遺跡13区・14区石器群

第5節 真正寺条里跡1区石器群

第6節 真正寺条里跡2区石器群

第7節 その他の石器

第4章 自然科学分析 52 p

第1節 火山灰分析

第2節 年代測定

第3節 植物珪酸体分析

第5章 総 括 71 p

第1節 概要

第2節 まとめ

挿 図 目 次

<p>第1図 遺跡位置図(1/20,000)</p> <p>第2図 調査区配置図(1/10,000)……………2</p> <p>第3図 龍王遺跡付近の地形断面(東西方向)…3</p> <p>第4図 龍王遺跡・真正寺条里跡旧石器時代遺物出土地点土層対比(1/50)……………4</p> <p>第5図 龍王遺跡4区旧石器時代遺構・遺物検出状況(1/100)……………6</p> <p>第6図 龍王遺跡4区旧石器時代Pit群(1/50)…7</p> <p>第7図 龍王遺跡4区出土石器(2/3)……………8</p> <p>第8図 龍王遺跡倉地川地区G-2東壁土層(1/50)…9</p> <p>第9図 龍王遺跡倉地川地区グリッド設定図(1/400)…9</p> <p>第10図 龍王遺跡倉地川地区旧石器時代遺物検出状況(1/400)……………10</p> <p>第11図 龍王遺跡倉地川地区出土石器(ナイフ)(2/3)…11</p> <p>第12図 龍王遺跡倉地川地区出土石器(搔器)(2/3)…12</p> <p>第13図 龍王遺跡倉地川地区出土石器(剥片尖頭器)(2/3)……………12</p> <p>第14図 龍王遺跡倉地川地区出土石器(縦長剥片)(2/3)…13</p> <p>第15図 龍王遺跡倉地川地区出土石器(打面再生剥片)(2/3)……………14</p> <p>第16図 龍王遺跡倉地川地区出土石器(石核調整剥片)(2/3)……………15</p> <p>第17図 龍王遺跡倉地川地区出土石器(石核調整剥片・残核)(2/3)……………16</p> <p>第18図 龍王遺跡倉地川地区出土石器(2/3)…17</p> <p>第19図 龍王遺跡5区・6区旧石器時代遺構・遺物検出状況(1/100)……………18</p> <p>第20図 龍王遺跡5区SK-1(1/50)……………19</p> <p>第21図 龍王遺跡5区・6区旧石器時代遺物分布状況(1/100)……………20</p> <p>第22図 龍王遺跡5区・6区出土石器(ナイフ)(2/3)…21</p> <p>第23図 龍王遺跡5区・6区出土石器(使用痕のある剥片)(2/3)……………22</p> <p>第24図 龍王遺跡5区・6区出土石器(加工痕のある石器・接合資料)(2/3)……………22</p> <p>第25図 龍王遺跡5区・6区出土石器(打面再生剥片)(2/3)……………23</p> <p>第26図 龍王遺跡5区・6区出土石器(石核)(2/3)…23</p> <p>第27図 龍王遺跡5区・6区出土石器(縦長剥片)(2/3)…24</p> <p>第28図 龍王遺跡5区・6区出土石器(剥片)(2/3)…25</p> <p>第29図 龍王遺跡13区・14区旧石器時代遺物検出状況(1/100)……………26</p>	<p>第30図 龍王遺跡13区・14区旧石器時代遺物分布状況(1/100)……………27</p> <p>第31図 龍王遺跡13区・14区大型剥片石器検出状況(1/20)……………28</p> <p>第32図 龍王遺跡13区・14区出土石器(ナイフ他)(2/3)……………28</p> <p>第33図 龍王遺跡13区・14区出土石器(打面再生剥片)(2/3)……………29</p> <p>第34図 龍王遺跡13区・14区出土石器(スクレイパー)(2/3)……………29</p> <p>第35図 龍王遺跡13区・14区出土石器(剥片・接合資料)(2/3)……………30</p> <p>第36図 龍王遺跡13区・14区出土石器(剥片・接合資料)(2/3)……………31</p> <p>第37図 真正寺条里跡1区旧石器時代遺物検出状況(1/200)……………32</p> <p>第38図 真正寺条里跡1区旧石器時代遺物分布状況(1/200)……………33</p> <p>第39図 真正寺条里跡1区出土石器(尖頭器)(2/3)…34</p> <p>第40図 真正寺条里跡1区出土石器(素材剥片)(2/3)…35</p> <p>第41図 真正寺条里跡1区出土石器(台形)(2/3)…36</p> <p>第42図 真正寺条里跡1区出土石器(削器・搔器)(2/3)…36</p> <p>第43図 真正寺条里跡1区出土石器(縦長剥片)(2/3)…37</p> <p>第44図 真正寺条里跡1区出土石器(残核他)(2/3)…37</p> <p>第45図 真正寺条里跡2区旧石器時代遺物検出状況(1/200)……………38</p> <p>第46図 真正寺条里跡2区旧石器時代遺物分布状況(1/200)……………39</p> <p>第47図 真正寺条里跡2区出土石器(剥片尖頭器)(2/3)…40</p> <p>第48図 真正寺条里跡2区出土石器(台形・削器・搔器)(2/3)……………41</p> <p>第49図 真正寺条里跡2区出土石器(縦長剥片)(2/3)…42</p> <p>第50図 真正寺条里跡2区出土石器(剥片他)(2/3)…43</p> <p>第51図 真正寺条里跡2区出土石器(残核)(2/3)…44</p> <p>第52図 その他の石器(細石核)(2/3)……………45</p> <p>第53図 その他の石器(エンドスクレイパー)(2/3)…45</p> <p>第54図 雲仙市十園遺跡32区・33区のPitと石器群…71</p> <p>第55図 龍王遺跡5区・6区石材別の出土石器…73</p> <p>第56図 29頁第34図112摩滅範囲(アミ)……………74</p> <p>第57図 真正寺条里跡1区石材別の出土石器…74</p> <p>第58図 真正寺条里跡1区石材別分布状況…75</p> <p>第59図 雲仙市国見町十園遺跡出土石器(1/3)…77</p> <p>第60図 龍王遺跡・真正寺条里跡の石器群の変遷(1/3)…80</p>
---	---

表 目 次

第1表	龍王遺跡4区旧石器時代遺物計測表	46
第2表	龍王遺跡倉地川地区旧石器時代遺物計測表	46
第3表	龍王遺跡5区・6区旧石器時代遺物計測表	48
第4表	龍王遺跡13区・14区旧石器時代遺物計測表	49
第5表	真正寺条里跡1区旧石器時代遺物計測表	50
第6表	真正寺条里跡2区旧石器時代遺物計測表	51
第7表	その他の石器計測表	51
第8表	器種別の石器出土数	77

図 版 目 次

中表紙図版 遺跡上空より有明海をのぞむ（右上建物は雲仙市立国見中学校）

巻頭図版① 龍王遺跡4区出土石器 倉地川地区出土石器 龍王遺跡5区・6区出土石器

巻頭図版② 龍王遺跡13区・14区出土石器 真正寺条里跡1区出土石器 真正寺条里跡2区出土石器

図版1

遺跡上空写真（昭和35年度国土地理院）

図版2

龍王4区土層堆積状況

龍王4区柱穴検出状況

龍王4区柱穴半裁状況

龍王4区柱穴完掘状況

龍王4区完掘状況

龍王4区石器検出部分（人）と柱穴の位置（竹）

倉地川地区調査風景

倉地川地区G-2グリッド石器検出状況

図版3

倉地川地区G-2グリッド東壁土層堆積状況

倉地川地区調査風景（発掘体験による石器の発見！）

龍王5区・6区石器検出状況

龍王5区・6区SK-1検出状況

龍王5区・6区SK-1半裁状況

龍王13区・14区調査風景

龍王13区・14区土層堆積状況

龍王13区・14区石器検出状況（古墳住居柱穴壁面：第34図）

図版4

龍王13区・14区石器検出状況（プリント痕：第36図）

真正寺1区調査風景（中央は試掘坑）

真正寺1区完掘状況

真正寺2区完掘状況

真正寺2区石器検出状況（第47図160）

真正寺2区石器検出状況（第49図178）

真正寺2区土層堆積状況

真正寺2区科学分析用土層サンプリング風景

図版5

龍王4区，倉地川地区出土石器（2/3）

図版6

倉地川地区出土石器（2/3）

図版7

倉地川地区，龍王5区・6区出土石器（2/3）

図版8

龍王5区・6区，龍王13区・14区出土石器（2/3）

図版9

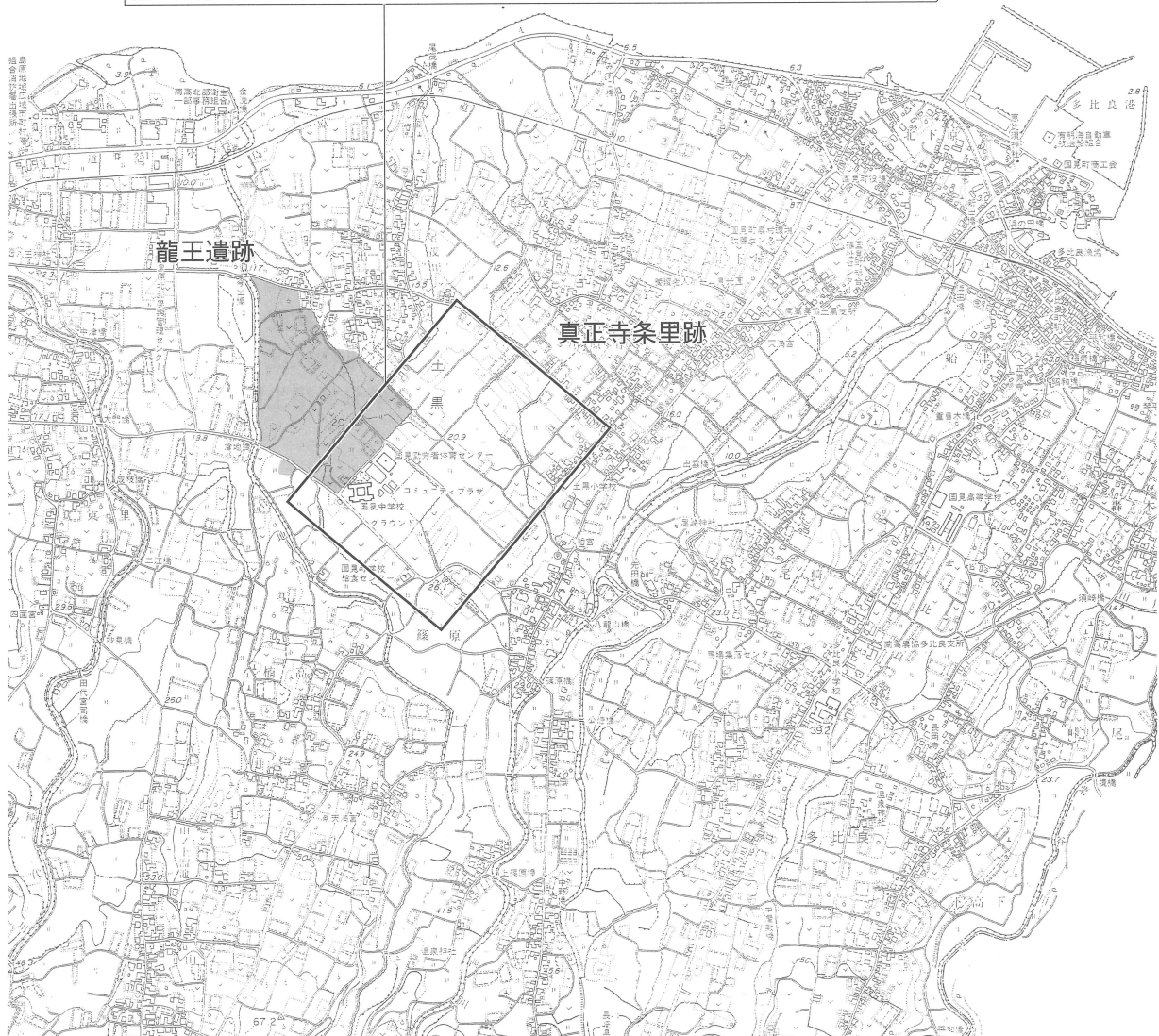
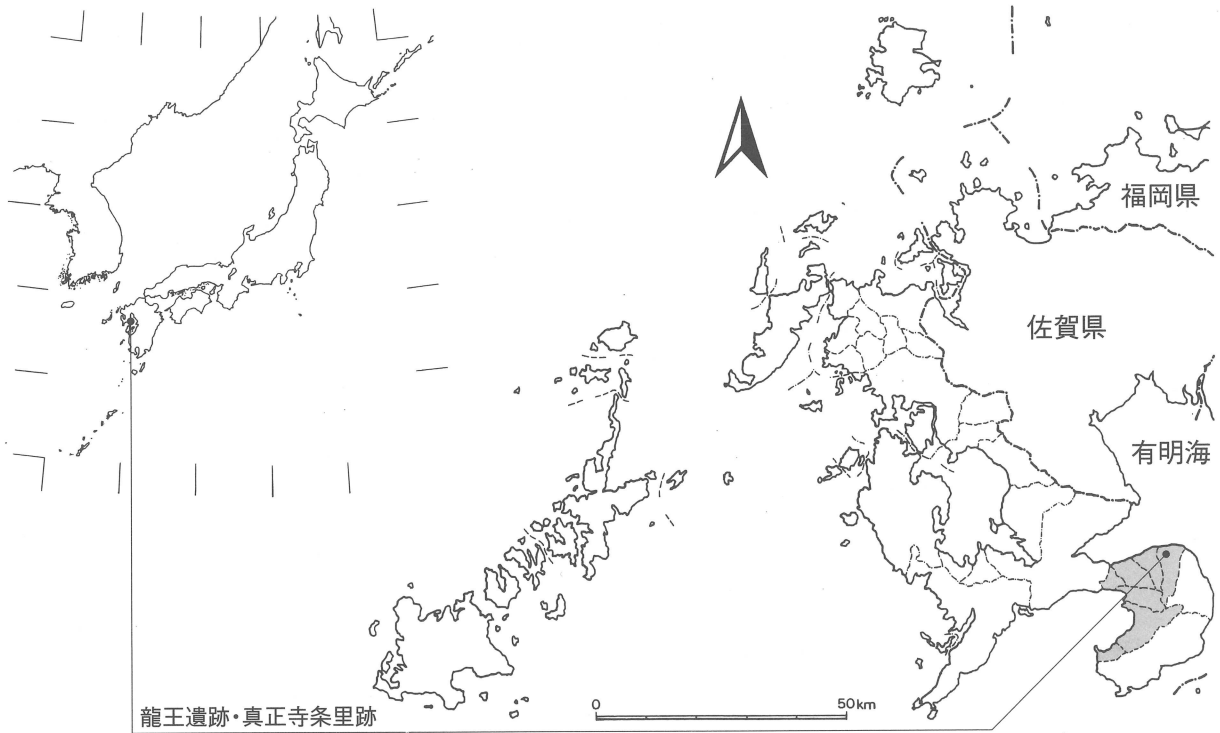
龍王13区・14区，真正寺1区出土石器（2/3）

図版10

真正寺1区，真正寺2区出土石器（2/3）

図版11

真正寺2区，その他出土石器（2/3）



第1図 遺跡位置図(1/20,000)